

# Web Usability & Accessibility

13 財務省サイト



アクセシビリティ分析担当  
**濱田英雄**  
 (株)ユーディット 主任研究員  
 hamada@udit-jp.com



ユーザビリティ分析担当  
**石田直子**  
 (株)ユーディット 研究員  
 naoko@udit-jp.com

(株)ユーディット  
 URL <http://www.udit-jp.com>  
 「情報のユニバーサルデザイン」を目指し、アクセシブルなWebの制作やコンサルティング、高齢者や障害者も利用できるユニバーサルデザインの情報環境、製品の調査などを行っている。

## 明確な階層構造とカテゴリ整理など 簡潔・わかりやすさで平均点以上

空転が続いていた国会内での予算審議も収束の兆しが見え(3月6日時点)、新年度予算配布にも大きなダメージはなさそうな気配だ。とはいえ、4月1日からのペイオフ解禁や景気回復のための補正予算問題を含め、財政建て直しの要となる省庁、財務省への注目度は相変わらず高い。「塩爺」が提唱する財政構造改革はどのように開示され、成果を挙げているのか。Web調査官、濱田・石田両氏が財務省サイトの「ユーザビリティ&アクセシビリティ」について査察する。

### ユーザーの思考を読んで 柔軟なルート設定を

ユーザーは単純なルートで目的のページや情報にたどり着こうとしますが、その一方で必要な情報は見落としたくない、という意識を併せ持っています。また、見たい情報が省略されていたり、それを見るために回り道をするのも嫌がります。

財務省のサイトではコンテンツのカテゴリが整理されており、トビックスなどからページへ直接ジャンプしても、その上位カテゴリがわかるように整理されています。

以前に我々があるサイトでテストを行った際、ユーザーが「製品紹介」と「製品販売」という2つの項目でどちらから購入手続きに入れるのか迷うという場面がありました。作り手側としては、製品の紹介をする流れと実際の購入作業を行う流れでページを分けることで、製品紹介を見たい人、すぐに購入したい人に対応できると考えたのでしよう。しかしユーザーの多くは、何かを購入する際には製品スペックや大きさ、重さなどの説明を読みたいと思うものです。とくに商品を手にとってみることができないWebではなおさらのことです。入り口に「紹介」と「購入」という似たカテゴリがあると、たとえ両者の間でリンクが張られていたとしても、スタート時点で自分の目的に合う入り口がわからなくなります。もちろん、手取り早く購入作業を行いたい人向けには説明が省略できるようなルートも用

意する必要があります。1つの入り口から、両方のニーズに応えられるようなルートを設定しておくことです。

### ディスプレイ解像度を 配慮して画面構成を

Webは通常ディスプレイで閲覧するものなので、その解像度が見え方に大きな影響を与えます。私の手元にある5台のディスプレイ解像度は全部1024×768(XGA)ですが、皆さんはどうでしょうか。

弱視の人が画面を見やすくするために、ディスプレイの解像度を640×480(VGA)以下にしている場合、横幅が640ピクセルを超えていると、横スクロールバーも発生して、全体が見にくくなります。また、拡大ソフトを使って一部分だけを見る場合は、さらに全体像がつかめなくなります。

そのため、WAI\*でも640×480を推奨していますが、現在、一般的なユーザーが使用しているディスプレイの解像度は、800×600(SVGA)以上が大半を占めています。ですから、800×600で作成してもさほど問題は無いと思いますが、少なくとも横幅が800ピクセルを超えることは避けましょう。

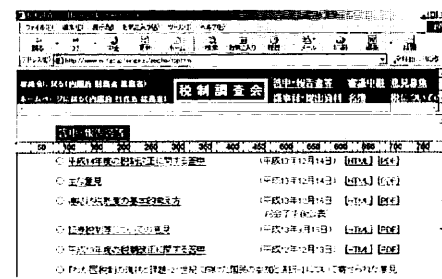
残念ながら、財務省のサイトでもフレームを使ったページで800ピクセルを超えています(図2)。

Webページの縦幅については規定していませんが、長くても2~3画面を目安にして、重要な情報は、縦600ピクセルのブラウザ枠内に表示されるように配慮しましょう。

図1 <http://www.mof.go.jp/>



図2



### ユーザビリティ総合評価 ★★★★★

トップページはシンプルにまとめられ、見やすくなっています。統一デザインを下位のカテゴリにまで継承するよう徹底してください。

### アクセシビリティ総合評価 ★★★★★

サイト内のデザインの統一性にやや問題がありますが、全体的にはそれ程問題はないようです。

WAI\*:「タリ」ユーエイ、または「ウエイ」。WWWに関する標準の策定を行っているW3C内に設けられた組織で、障のない人も含めて、誰もがWWWを利用できるようにすることを目的としている。障害者に配慮したWebコンテンツの作成方法などに関する指針を公表している。

### ユーザビリティについて (解説/石田直子)

#### ユーザーにサイトの目的が伝わること ★★★★★

サイト中ほどに、情報公開、税制、外国為替など財務省の業務別内容が分類されています(図1-①)。これらの項目を見るだけでも財務省の業務内容がだまかにわかります。財務省といっても、筆者のように「国の予算を預かる役所」という漠然とした知識しかない者にとっては、このようにイメージ作りに役立つカテゴリ分類は好感が持てます。省庁サイトの役割として、業務の紹介と情報公開がありますが、カテゴリだけでこれらを満たす好例です。

#### 全体像がトップページで把握できること ★★★★★

サイトの全体構成がおおよそ把握できるような画面構成になっています。難を言えば、ユーザー側のディスプレイによってはページ上部、つまりトップと新着情報くらいしか見えないことでしょうか。もう少しページを短くするために、トップページに載せる項目を絞ったほうがよいでしょう。

#### デザインや構成が統一されていること ★★★

基本的なヘッダのデザインと、連絡先やトップページ、前頁へのリンクを示すフッタについてはデザインが統一されています(図3)。フッタなどは非常に簡単なアイコンのみですが、上位へ戻るナビゲーションとしては十分でしょう。ただ残念ながら、これらのヘッダやフッタはサイトの各部門のページまでは継承されていません。

#### 必要な情報が適切な場所にあること ★★★★★

このサイトでは上位カテゴリやトップページへ戻るといったナビゲーションが画面の最後にあります。これでは各ページで位置が変わってしまい、スクロールしないと見えないこともあります。画面の上部の同じ位置に配置されているのが望ましいでしょう。それにより、どのページに行ってもほとんどマウスを動かすことなく、ナビゲーションできます。

#### 次の動作がわかりやすいこと ★★★★★

リンクが張られている文字は青色で、これはほとんどのページで統一されています。しかし、トップページでは各カテゴリへのリンクとそのカテゴリの下位のページへのリンクについて、文字のサイズや太さがまったく同じです。これでは上位のカテゴリが目につきにくく、画面も単調になります。上位カテゴリから順に見ていきたい人のためにも、直接のショートカットとカテゴリ別目次へのリンクは少し違った表現方法がよいでしょう。

#### 予想されたフィードバックが返ってくること ★★★★★

シンプルでわかりやすい動きと、明確な階層構造をしているため、予想外の動きをすることはそれほどありません。ただ、上部の「税についての対話集会」のバナーが、文字のものと女性が表示されているものの2つあり、一見同じとは気づきません。また、一部のページではデザインがまったく異なるため、別のサイトに飛んでしまったかの印象を受けることなどです。このページ(図4)については、他のページでは「財務省のトップページへ」という記述のところを「ホーム」としてあり、ここをクリックすると新しいウィンドウが開いてしまいます。管理部署が違うのかもかもしれませんが、こうした基本的な部分の記述については同一サイトという意識をもって統一しておくべきです。

図3

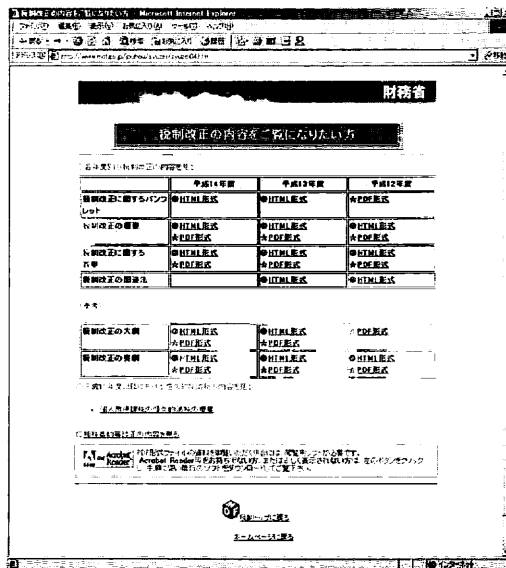


図4

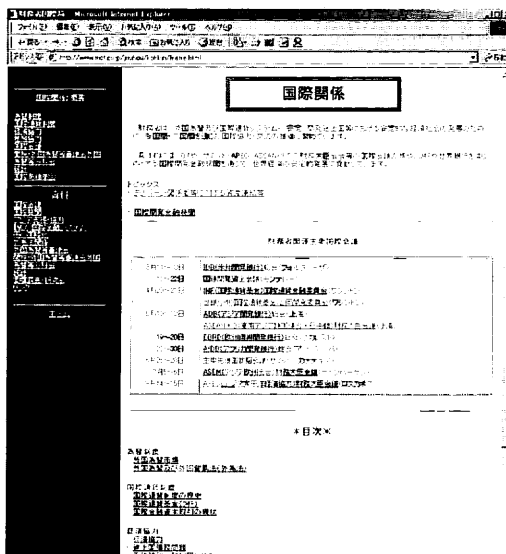


図5 http://www.mof.go.jp/

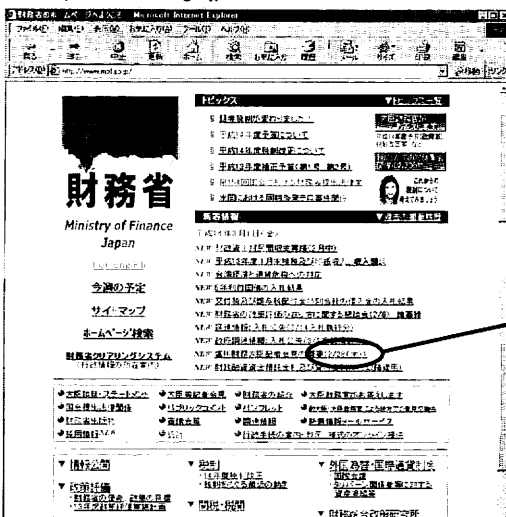
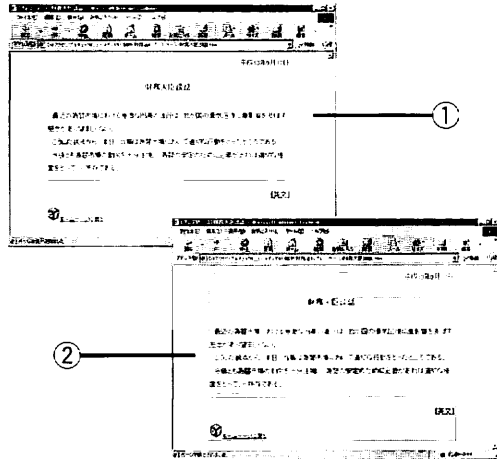


図6 [http://www.mof.go.jp/jouhou/kokkin/dan\\_010917.htm](http://www.mof.go.jp/jouhou/kokkin/dan_010917.htm)



## アクセシビリティについて (解説/濱田英雄)

画像にはALT属性をつけること

★★★★★

一部適切でない箇所もありますが、概ねよいと思います。

外国語の乱用はしないこと

★★★★★

カタカナ言葉も多少ありますが、それほど問題ないと思います。

<title>タグは的確につけること

★★★

「大臣政務官がお答えします」で、同じ<title>がついているところがあります。また、適切でない<title>もあります。

背景と文字色はコントラストがあること

★★★★★

一部コントラストが悪く読みづらいページがありますが、概ねよいと思います。

フレームの使用は必要最小限にすること

★★

一部にフレームが使われていますが、フレームでしか表現できないか考慮する必要があります。また、フレーム元ファイルのNOFRAMES要素には、音声やテキストブラウザに配慮して、フレームそれぞれのページに飛べるようにテキストリンクを入れましょう。

新しい技術には代替手段を用意すること

★★★★★

見たところ、新しい技術は使われていないようです。

その他

【トップページ】(図5)

●音声ブラウザの読み方(図5-①)

新着情報にある「塩川財務大臣記者会見の概要(2/28(木))」のカッコ内を代表的な音声ブラウザでは「にじゅうはちぶんのきに」と読み上げます。これは音声ブラウザが「/」を分数と認識し、記号の「()」は読み飛ばすためです。「2月28日(木曜)」とするなど判読しやすい表記に改めるべきでしょう。

【(プレスリリース)財務大臣談話】

●<table>タグデザインの問題(図6-①)(図6-②)

一見、タイトルと本文という簡単なHTMLですが、Web作成ソフトを使うと<table>でデザインされてしまいます。本来<table>は作表用のもので、何でもかんでも<table>にするのは考えものです。

【国債市場懇談会】

●リンク先の問題(図7)

議事要旨のなかに(資料①、資料②)というリンクがあります。たとえば「資料①」はHTMLですが、「資料②」はPDFになっています。別ソフトが必要なものにリンクする場合はハッキリわかるように配慮すべきです。また、丸数字は機種依存文字なので、ユーザー環境によって文字化けすることがあるので、使用しないようにしましょう。

【証券税制改正パンフレット】

●画像の問題(図8)

ここにはパンフレットをスキャンした画像が貼ってありますが、ALT属性がついていないので、音声では何も情報が得られません。HTML化するか、テキストページを用意する必要があります。

【入札・落札(物品製造等)】

●単語内のスペースの問題(図9)

タイトルの下に「入札公告」「落札結果」というサブタイトルがありますが、デザインのために一文字空さになっています。音声ブラウザでは、単語内にスペースが入ると一つの言葉として認識できません。「入札公告」は(いりふだこうこく)、「落札結果」は(おちふだむすびはて)と読み上げてしまいます。一単語内にはスペースを入れず、デザイン上、どうしても必要な場合は、画像にしてALT属性をつけて処理しましょう。

図7 <http://www.mof.go.jp/singikai/kokusai/top.htm>

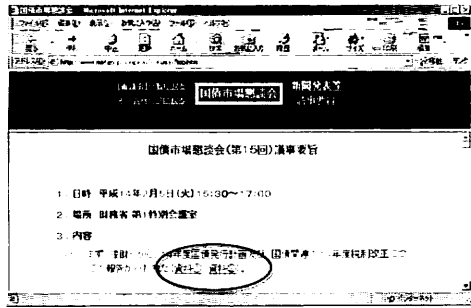


図8 <http://www.mof.go.jp/jouhou/syuzei/pan05/message-ex.htm>

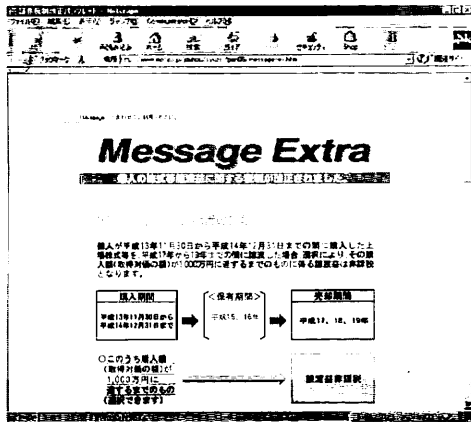


図9 <http://www.mof.go.jp/jouhou/tyoutatu/buppinn.htm>

